

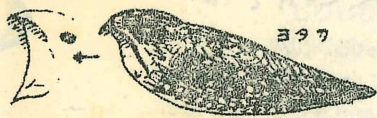
すずか通信 No.15

1982.10.1

行徳野鳥観察舎友の会会報



塩浜小6年
市川拓



(高村光太郎詩集より)

夏時間の夕方八時をきつかけに
きつとヨタカが飛んでくる。
ふわっ、ふわっ、
ぎよぎよぎよぎよぎよぎよぎよと、
息もつかずに啼きながら
ひくく田づらや畑の上を
高速度でとびまはる。
おれは草かげの涌き水で
シャベルやマンガを洗ひながら
「セルボーンの博物誌」をおもひ出す。
二百年も昔のイギリスの片田舎で
一人の牧師が書きとめた
あのヨタカがそこにある。
自然に在るのは空間ばかりだ。
時間は人間の発明だ。
音楽が人間の発明であるやうに。

ヨ
タ
カ

行事案内

だれでも自由に参加できます。



キビタキ

しんはき

新浜自然観察会

10月10日(日), 11月14日(日), 12月28日(日)
(毎月第2日曜日)

集合: 東西線行徳駅広場 10時

解散: 野鳥観察舎 午後2時30分

案内: わずかに残されている妙典地区の湿地や保護区で、カモ、サギ、バンなどの水鳥を中心に、重々植物の観察をします。

(午前中に江戸川放水路、妙典の湿地を観察し、午後は保護区を観察予定です) 弁当、水筒、雨具などをお忘れなく!



定例園内(せん)観察会(観察舎主催)

10/3, 17, 11/7, 21, 12/5, 19
(毎月第1, 3日曜日)

集合: 野鳥観察舎前 午後1時30分

解散: 午後4時30分

観察路約3.5km歩きます

観察舎より

南館 午前9時~午後5時(休館毎週月日・毎月末金曜日(10/29 11/26)及び祝

日の翌日(11/4, 11/24, 10/12, 10/13(月か祝日のとき火・水連休)

計画のあった保護区の本土の淡水池造成行事が9月末におこなわれました。生活工場所産矢なつつある淡水性の水鳥の繁殖地、エサ場として充実させていきたいと思っておりますので会員の方向協力をお願いいたします。

事務局より

今年度の会費をおおさめ下さい。年会費普通1000円、賛助2000円以上。シニパー500円(小・中・高校生)〔観察舎において、会費をあずかってもらえます〕

観察舎では、野鳥に関する本、絵はがき、シターセット、道尾さんがつくった鳥のマスコット、観察舎の絵はがき(冬・春1組4枚・各150円)発行友の会、などの販売もしています。来年度のカレンダーの予約もしていますヨ。観察舎へいきましたら、観察指導などのたわめをお願ひします。

——新築集こうき—— 新しい淡水池がよろやとできました。ここに水鳥がやってきて、ヒナを育てることでしょう。皆さんも一度いらして下さい。ボランティア活動(家来)をよろしくノカットもお送り下さい(はきたか)

すすがも通信

No.15

1982年10月1日発行
〒辰 仙台-6129
年会費1000円

発行人 亀谷 栄

事務局 金鈴木 有方

編集人 田久保 晴子

観察舎 〒272-01 市川市福栄4の22の11 TEL 0473(97)9046

4(064)